

諸外国語アプリケーション科目 先取り履修 申請チェックシート

諸外国語アプリケーション科目は、本来、SAから帰国した後の学生が語学力をさらに伸ばす場として設けられている科目ですが、1～2年生でも受講にふさわしい力を備えた学生に先取り履修を認めています。諸外国語アプリケーション科目の先取り履修を希望する1～2年生は、次の説明を良く読んで申請してください。

1. あなたは次の外部語学検定試験の級やスコアをどれか1つ、すでに持っていますか？

ドイツ語	独検 3 級、SD 2、FD 2	ロシア語	ロシア語能力検定 3 級、ТРКИ-БУ
フランス語	仏検 3 級、DELF A1、TCF100-199、TEF 69-203	中国語	新 HSK4 級
スペイン語	DELE B1	朝鮮語	ハングル検定3 級

Yes → 2. に進んでください。

No → 諸外国語アプリケーション科目 先取り履修 の受講資格がありません。

2. SA担当の先生と、先生のメールアドレスは分かっていますか？

Yes → 3. に進んでください。

No → 学部の事務窓口でSA担当の先生と、先生のメールアドレスを確認してください。

3. 先取り履修したいアプリケーション授業（英語、情報除く）の曜日と時限、教室、担当の先生は分かっていますか？

Yes → 4. に進んでください。

No → 国際文化学部のシラバス（講義概要）と時間割を見て調べてください。

4. 先取り履修したいアプリケーション授業の初回授業に出席しましたか？

Yes → 自分がついていけるレベルか先生と相談した上で、5. に進んでください。

No → 第2回の授業に必ず出席してください。第3回以降では遅すぎるので先取り履修を許可できません。

5. ①自分の名前、②学生証番号、③持っている外部語学検定試験の級やスコア、④先取り履修したいアプリケーション授業の曜日と時限、⑤アプリケーション授業担当の先生の名前、を明記して、アプリケーション授業の先取り履修の受講許可書を書いてくださいと依頼するメールをSA担当教員に送りましたか？

Yes → 受講許可書をSA担当教員に書いてもらった上で、6. に進んでください。

No → 上の①～⑤を明記したメールをSA担当教員に送ってください。

6. ⑦外部語学検定試験の級やスコアを証明する書類（提出の時点で有効なもの）

⑧SA担当教員に書いてもらった受講許可書

を学部事務窓口へ提出してください。 ※提出期限は学部ホームページ等でお知らせします。

20 年 月 日

国際文化学部長殿

S A 語担当
教員氏名 _____

受講許可書

_____語の既修者である1・2年生の(学生氏名) _____ (学生証番号) _____
さんから、_____語アプリケーション科目について受講許可の求めがありました。つきましては、
検討の結果、下記の科目に限り例外的に受講を許可します。

記

学生氏名	_____
学生証番号	_____
取得済みの外国語検定試験	_____
受講を許可するアプリケーション科目	_____
	語アプリケーション
	曜日 時限

	授業担当者名

以上